

図書館ニュース

「律令国家の図書寮と
藤原仲麻呂」

学長 木本 好信

本誌第46号には「図書館のはじめ」と題して、我が国での図書館のはじまりについて書きましたが、本号ではその続編として、筆者が40年間追いつづけてきた藤原仲麻呂という8世紀の政治家と、図書館との関わりについてちょっと紹介してみることになります。

奈良時代、律令制国家では図書館は、図書寮という役所によって管理運営されていました。『養老令』という718年にできた法律の「職員令」第6条には、図書寮の規定があって、長官である頭をはじめ、助、大允・少允、大属・少属の管理職が図書を管理し、また国の歴史の編纂作業に就いていました。そして、これらの役人のもとに経籍を書写する写書手、紙を造る造紙手、墨を造る造墨手、装丁と紙を染色する装演手などの技術職の人びとが70人ほどいました。

「職員令」には、神祇官・太政官の2官をはじめ、8省・台・職・寮・司などの官司がみえ、図書寮と同格の寮は20寮近く規定されています。

天平宝字2年(758)8月、この時に大保(右大臣)として権勢をふるっていた藤原仲麻呂は、これらの官司名の改称を実施します。仲麻呂は、開明派の政治家で、当時世界の先進国だった中国唐王朝の政策を模範として改革的な政治を進めていました。この官号改易もその一環です。

仲麻呂は、儒教の徳目を念頭に、大蔵省を「財物を出納するのに節制が大切」として節部省とか、民部省を「政治を国民に施すには仁の心が必要だ」として仁部省とかに改名しています。今のお役人にも心に留めておいて欲しいことですね。

話が少し逸れました。仲麻呂が20近くある寮のうち、改名したのは2つだけです。そのうちの1つが図書寮で、「書籍を管理して内裏に奉仕する」から内史局と

改称しています。つまり仲麻呂は、図書寮をとっても重視していたということです。その理由についてははっきり分かりませんが、仲麻呂のプロフィールには、「仲麻呂は、率性(性格)は聡く敏く、たくさんの書籍を読んでいた」とみえています。奈良時代の人物で、「多くの書物を読んでいた」と評されているのは、この時代随一の大学者だった淡海三船くらいです。このことからしても学者肌の読書家だったと考えられますから、図書寮に大きな価値を見出していたのでしょう。

仲麻呂の施策の制文には、『律令』は勿論のこと、正史の『旧唐書』はじめ『維城典訓』『六韜』『左伝』『韓非子』『管子』『老子』『文選』など多くの漢籍が引かれていることでも、そのことが証明されます。

ところが、この頃仲麻呂の殺害を中心とするクーデター計画が秘密裏に進められていました。強引な方法での新皇太子の決定や専制的な政治方針、東大寺建立による膨大な経済負担などが理由でしょう。その中心人物は橘奈良麻呂や大伴古麻呂らで、万葉歌人としても有名な大伴家持も加わっていました。

天平宝字元年6月頃からクーデターが計画されはじめ3度ほど集まりがもたれました。1回目は奈良麻呂の自宅で、2回目は図書寮の庭だったことが『続日本紀』にみえています。図書好きの仲麻呂暗殺の相談が図書寮で行われていたなんて、ちょっと皮肉なことです。

図書寮が平城宮のどこにあったのかは、いまだ分かりません。平安宮では西北部の西門の近くにありましたが、天平宝字8年10月に淳仁天皇が宮の中央部の中宮院から図書寮の西北を経て、東南の小子部門から二条大路に出て淡路に流されていったという記事が『続日本紀』にありますから、平城宮と平安宮とでは図書寮の場所が違っていたようです。

「ルビンの盃」

倉戸 直実（生活環境学科）

ルビンの盃^{サカズキ}というのを知っていますか。

「顔」に見えたり「盃」に見えたりする不思議な特徴を持っている図です。

これはデンマークの心理学者ルビン（Rubin, Edger John 1886～1951）によって100年ほど前の1915年に発表されたものです。

まず、図を見てください。何に見えますか？「顔」。そうですね。顔だと思ってそのまま集中してじーと見ていてください。すると「顔」が、すーと後ろに引いて、他の図が見えてきます。それは白い「盃」ですね。また「盃」をじーと見ていると、急に後にスーと引いて顔が見えますね。

同じ図が顔に見えたり盃に見えたりする、それは、経験と図自身の関係によるゲシュタルト（gestalt・要素に分割しえず要素の総和以上のまとまり）があるという。この図形は顔と盃という要素から出来ているのではなく、顔と盃が一体となっていてできあがっている。したがって、顔だけ、盃だけを切り出すことはできない。このような多義図形は



ルビンの盃

- 2) 図は物の性質をもつ。
- 3) 図は表面色を持つ。
- 4) 図は地より前方に見える。
- 5) 図は地より印象的である。

とルビンは説明しています。

大変興味のある図で、心理学の本やデザインの本にも掲載されています。興味を持ってそれぞれのルビンの盃を詳細に観察すると、盃の上部の平行角度、盃の厚さ、目から鼻への滑らかさ、鼻の角度、鼻の下から唇の角度、口の開いている大きさ、あごの下の角度などが微妙に異なっているのに気づきます。どの図をルビンが書いたのだろうか？という探求心がわいてきます。

早速図書館に行って聞いてみると、「1915年頃の文献はありません。」

原題が分かればレファレンスサービス（reference service）で他の図書館に検索することができますという。便利なシステムがあると感心して原題

「Rubin,E.1915 Visuelle wahrgenommene Figuren. Copenhagen」

で調べて貰うことを依頼した。数週間後にコピーが届いたのが上図です。

少しいびつで心理学の本に掲載されている図形よりぎこちない描き方ですが、ルビンの盃に親近感をもち、原本を知ることの重要性を認識しました。

推薦図書

「お薦めの一冊から思うこと」

高野 恵子（生活環境学科）

私たちは普段の生活において、「憲法」を意識することはあるだろうか。私たちの個人的な生活のすべて、そして社会生活のすべては「法律」という規範に基づき営まれ、安全・安心・円滑な生活が守られている。「法律」に違反すると処罰を受ける。「憲法」は、その「法律」の基となり、国のあり方や考え方を示す核となるものでありながら、関心を向ける機会は少ない。そこで、講談社『日本のもと』シリーズの一巻として出版された「憲法」を紹介したい。

私が日曜日に自宅で過ごす日の定番は、某テレビ局で放送される討論形式の番組を観ることである。司会者やパネラーが国際問題や政治その他ジャンルを問わず、辛辣に激論を交わす。その中で最も紳士的に理論的・科学的に分かりやすく解説してくれるのが宮崎哲弥氏であり、宮崎氏が本書の監修に携われたことを番組の中で知った。「子ども」を対象に出版されているため、難しい漢字にはルビがふられ、平易な文章となっている。図や写真、漫画も加えられ、児童書の装丁になっているが、その中身は、「憲法」について丁寧に無駄なく説明され、児童書にしておくにはもったいない。大変わかりやすく、私は一気に読み進む事ができた。かつて習った聖徳太子がつくったといわれる十七条の憲法、イングランド王国（今のイギリス南部）のマグナ・カルタ、アメリカの独立宣言、フランス革命のくだ

りは、映画や芝居の場面のように情景がイメージできる。大日本帝国憲法発布の工程は今では想像できない程の先人たちの熱い思いが伝わり、歴史の重みとおもしろさに触れることができる。現在の日本国憲法の章は繰り返し読んだ。本憲法は、1947年に施行されて以来、一度も改正されたことがない。60年前と現在とは人々の生活や考え方、国際情勢なども当然大きく変わっていることから、憲法の今後の成り行きについても、最終章で説明されている。改憲か護憲かどちらかに偏ることなく「憲法の本質はズバリ！国民の基本的な人権を国や地方公共団体に保障させること」と、読者に安心と考える余裕を与えてくれている。

本書は、子どもから大人まで、また、これから社会人となる学生たちに「日本のもと」の「憲法」に関心を持つ機会を与えてくれることと思う。どうか、気負いなく本書を手にとってほしい。



「日本のもと 憲法」

宮崎 哲弥：監修

2011.3.24 講談社：発行

1,470円（税込み） 図書館所蔵

「思い出の本たち」

平化 恵美子（幼児教育保育学科）

思いがけず家をリフォームすることになり、八月から二カ月あまり、いつの間にか増え続け溢れかえった物と格闘することとなった。「断捨離」と割り切っても、なかなか「捨てる」のは勇気がいるものである。とはいうもののとにかく片付けないと先に進まないと覚悟を決める。

おびただしい服や写真の次に悩んだのが、本や雑誌である。たまたま結婚した時にホテルからプレゼントとして一年間贈って頂いたのがきっかけで、購読していた「暮らしの手帖」が出てきたのである。遥か昔に止め、すべて処分したと思っていたが気に入ったのを残していたらしい。

今でも十分に通用するしゃれた表紙を捲ると、社会問題や女性問題・子育てに商品テストや料理・エッセイ・素敵な服やインテリアそして外国の旅紀行など魅力ある内容の家庭雑誌である。生活全般についていろいろ教わり、大人の女性としての心構えを学んだ気がする。今、クローズアップされている編集長だった「花森安治」の記事を読み、改めて彼の偉業を知った次第である。

次は書棚の大部分を占めていた、世界文学全集を思い切って処分しようと一冊ずつ手に取っていくとまた、止まってしまった。

「風と共に去りぬ」「ジェイン・エア」「嵐が丘」「大地」「戦争と平和」等、奥からは「砂の女」「沈黙」「青春の門」次々と出てきた。当時はこのような長編小説や単行本は分厚く、小さな活字がびっしりと連なり、何日もかけて読んでいた

学生時代が蘇ったひとときであった。

やっと子どもの本コーナーに辿り着くが、どれも子どもとの思い出があり過ぎて、片付ける事ができない。

孫たちがやってくると、書棚の前で絵本とにらめっこ。四歳になった彼は自動車から昆虫や海の生き物に興味に移り、寝る前に三冊程枕元に並べ、読んでいる。二歳の彼女は定番のせなけいこシリーズや、食べることが大好きなのでくだものの絵本を抱え込むと、兄の真似をして読んでいます。

そんな二人の姿を見ていると、いつも自分自身の子育て中の姿が重なってくる。結婚しても仕事を続けていたのでとても忙しく、慌ただしい日々の中で唯一、安らぎタイムとなるのが、夫と交替で子ども達を寝かせる前の絵本を読む時であった。どの絵本も思い出がいっぱいだが、三人ともお気に入りだったのは「おいしいのぼうけん」である。登場人物が同じ保育園児というので、親しみやすいのか何回も読んで、ぼろぼろになった愛読書の一冊である。

思い出の本たちを通して、当時の様子を振り返り、時の流れの速さをしみじみ感じたこの二カ月余りであった。

この四月から久しぶりの通勤で本が読めると思っていたが、何しろ尋常ではないラッシュの中、とても本を広げる状態ではない上に、ようやく座れても、いつの間にか目を閉じている。おかげで読書は遅々として進んでいないが、本はいつも身近に置く習慣をこれからも続け、いろいろな世界をのぞきたいと思う。



推薦図書

「君はそんなに弱くない」 (秋元 康/幻冬舎・幻冬舎文庫)

岡田 準人（生活環境学科）

私が大学の教員となってから約4年の月日が経った。これまで、様々な学生の相談にのってきたが、ここ最近気になっている事は、自分一人で悩み、周りの友達や両親などに相談する学生が少なくなってきたことである。自分自身で悩み、問題を解決することも大切であるが、様々な人生経験や考え方を持った人達に相談し、話を聞いてもらうことも自分の悩みを解決する上で非常に大切な手段である。本を読むということも、悩みを解決する手段の一つである。

私が今回推薦する図書『君はそんなに弱くない』は、作詞家で有名な秋元康氏が1995年に出版したものである。本書は、ラジオやテレビ番組の放送作家、作詞家、アイドルグループのプロデューサーなど、様々な仕事を通じて若い女性の悩みや相談を聞いてきた作者が、Q&A方式で学生や新社会人の若い女性向けに書いたエッセイ集である。

本書の冒頭で秋元康氏は、「人間は、デッサン画のように、何本もの“過ち”の線で輪郭が浮かび上がって行く。一本の線で一筆書きのように自分を描こうとって、無理さ。言い方を変えれば、自分が嫌いな分、自分を好きになれるっていうこと。」と述べている。本書では、悩みというのは

大部分が自分の気持ち次第であり、それが解決できればより素敵な人生を送ることができるということを様々な悩みの事例を紹介しながら、わかりやすく述べられている。

本書の中に、「自分を好きになることから始めよう」という項目がある。ここでは、自分が見栄を張ることや自分の外見上のコンプレックスが人に迷惑をかけることはほとんどなく、そう考えると欠点の半分くらいは消えてしまうと述べられている。このことから、自分の中の欠点ばかりに目を向けずに、自分の好きな点を探すことが、自分が幸せになるための第一歩であることがわかる。

学生みなさんも、恋愛や就職など、様々な場面で悩むことがあると思うが、そのようなときは自分一人で抱え込まないで、友達や家族に相談するのもいいし、好きな本を読むのもいいし、占いをするのもいいと思う。とにかく、自分の悩みを解決するきっかけは、自分の身の回りにたくさんあり、その悩みの大部分は自分の気持ち（心）の持ちようだということを知っておいてほしい。

※図書館所蔵

『図書館における蔵書検索方法について』

図書館で本を探すことになった場合、何から始めればよいのでしょうか？

ここでは一般的な2つの方法を例にして、甲子園短期大学図書館における蔵書検索方法について説明します。

まず、1つ目は目録カードによる検索方法です。この検索方法だけでも3通りあります。

- ①本の書名で50音順に並べられている「書名目録カード」。
- ②本の分類で番号順に並べられている「分類目録カード」。
- ③本の著者名で50音順に並べられている「著者名目録カード」。

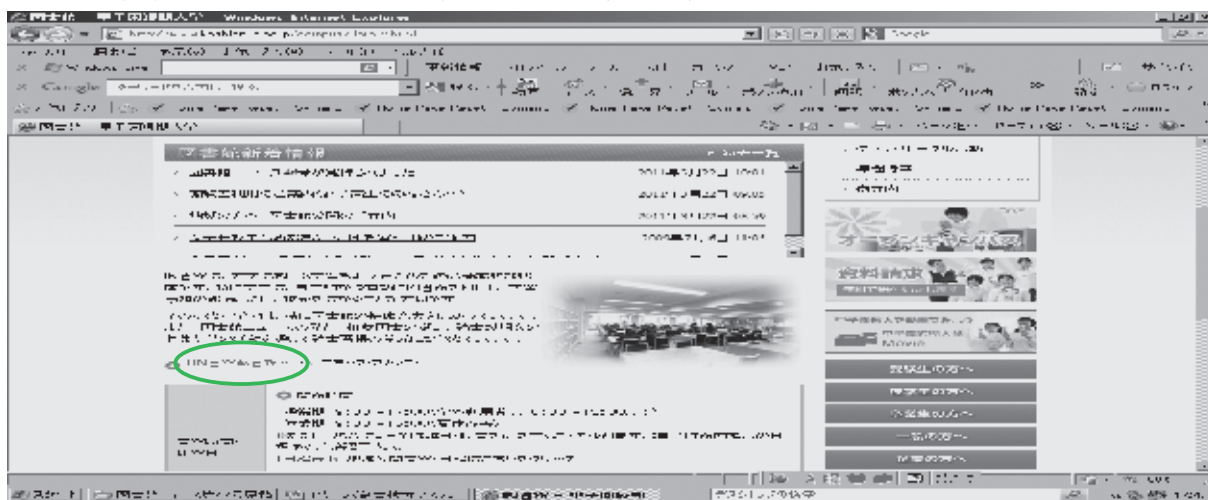
短大図書館では、①と②のカードを設置しています。例として「書名目録カード」を使った探し方を紹介しておきます。

分類番号	019	自分をつくるための読書術
著者記号	セ	勢古 浩爾 著. 筑摩書房、1997.
登録番号	45787	206p.
受入年月日	'99.9.10	ISBN 4-480-05734-X

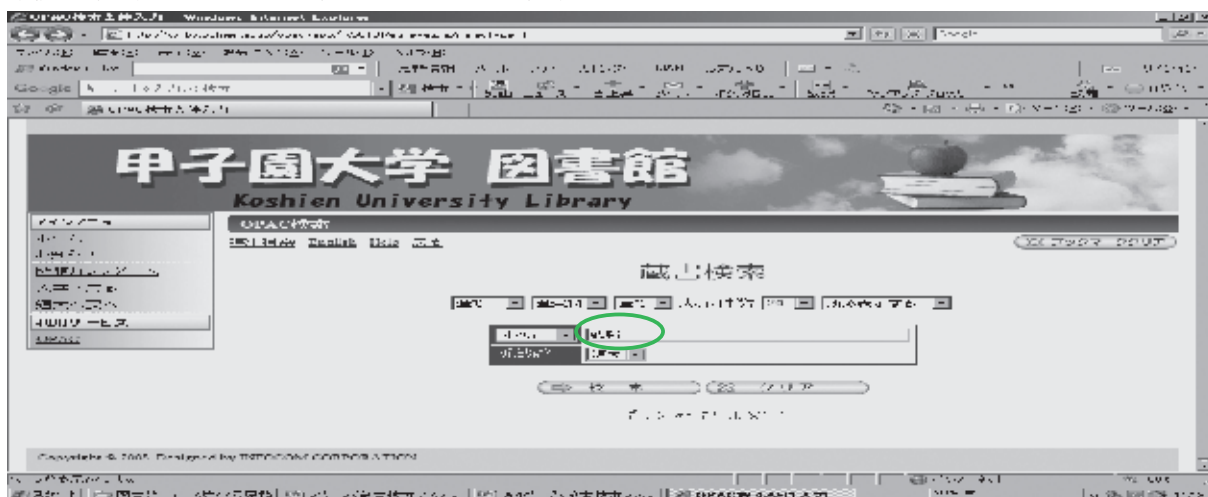
- 書名 (1) 書名目録カードで書名
 著者名 (「ジブンヲ…」だと「ジ」ではじまるカード) を探す。
 発行所 発行年 (カードの配列は、和書(日本の本)は50音順、
 ページ数 洋書(外国の本)はアルファベット順に並んでいる)
 (2) カードが見つかったら、分類番号をメモしておく。
 (3) 書架(本棚)から本を探す。
 ※書架は分類番号順に並べられています。

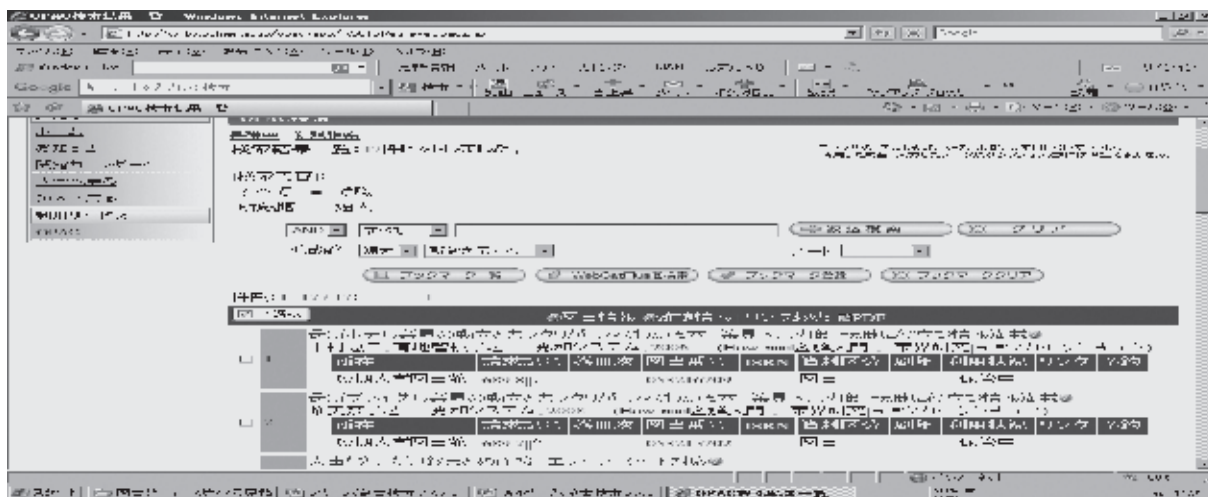
2つ目は、パソコンを使った蔵書検索システムからの検索方法です。例として「就職」関連の本を探してみましょう。

- (1) 短期大学ホームページ (<http://www.koshien-c.ac.jp/>) をひらく。
- (2) 図書館Library をひらく。
- (3) 「図書館蔵書検索」をクリック → 蔵書検索システム(OPAC) をひらく。



- (4) 検索欄に「就職」と入力し、所蔵館を短大にして検索ボタンをクリックする。





- (5) 検索結果の中で、読んでみたい本が見つかったら、情報をプリントアウトするか分類番号をメモしておく。
 (6) 書架（本棚）から本を探す。

本の探し方は人によって様々です。「これが正解!」というものは存在しません。たとえ遠回りすることになっても、そこに至る過程で手にした本は、きっとどこかであなたの役に立つはずです。もちろんカウンターへも気軽に相談してください。本学で所蔵していない場合は、国立国会図書館や他大学から借り受けをしたり、複写の依頼をすることもできます。(送料・コピー代などは個人負担) 図書館を上手に活用しましょう。
 (司書・猿丸 恭子)

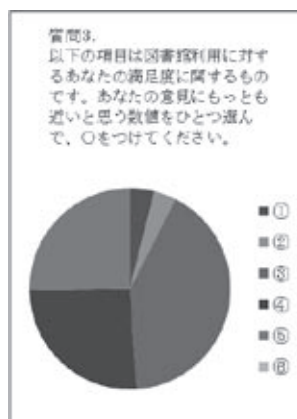
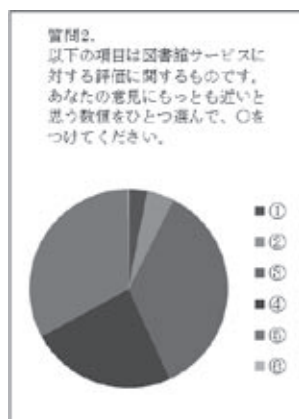
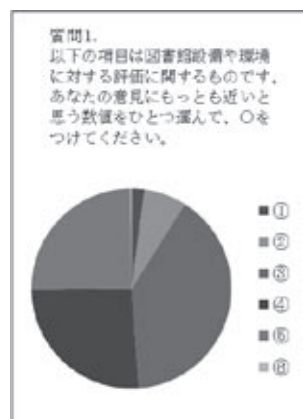
アンケート結果報告

『図書館アンケートの結果について』

皆さんに協力していただいた図書館アンケートの結果がまとまったので、図書館ニュースの紙面を借りて報告します。

		①	②	③	④	⑤	⑥
質問 1	(1) 図書館は利用しやすい場所にある。	3	13	46	36	42	1
	(2) 図書館内は清潔で快適で居心地が良い。	1	13	32	46	49	0
	(3) 机・椅子の数が十分に使いやすい。	1	7	43	46	44	0
	(4) 複写機が適切に使いやすく配置されている。	2	7	65	32	35	0
	(5) 必要な機能を備えたパソコンや視聴覚教材が十分にある。	4	10	69	30	28	0
	(6) 学習・研究に集中できる。	4	11	42	38	46	0
	(7) 図書が十分に揃っている。	3	16	46	43	33	0
	(8) 新聞・雑誌が十分に揃っている。	3	9	64	34	31	0
	(9) 辞書・事典類が十分に揃っている。	1	6	60	37	37	0
	(10) 開館日や開館時間が適切で利用しやすい。	5	13	62	29	31	1
	(11) 貸出冊数・貸出期間が適切である。	4	5	58	37	36	1
	(12) 資料がわかりやすく配置されており、館内の案内掲示もわかりやすい。	5	8	60	41	27	0
	(13) 図書館のホームページが利用しやすく充実している。	3	7	84	29	18	0
質問 2	(1) 図書館職員は利用者一人一人を大事にし、気配りのある対応をしている。	6	7	46	34	48	0
	(2) 図書館職員には利用者の質問に進んで答えようとする姿勢がある。	3	7	41	38	52	0
	(3) 図書館職員は利用者の質問に回答できる知識を持っている。	4	3	40	40	53	1
	(4) 図書館利用において利用者が困っている事について、信頼できる対処の仕方をしている。	6	4	45	30	56	0
	(5) 図書館のオリエンテーションや利用ガイダンスは役に立っている。	5	11	59	33	33	0
	(6) 図書・複写物を学内・外を問わず迅速に取り寄せることができる。	2	5	71	27	36	0
質問 3	(1) わたしは図書館の対応に、概ね満足している。	5	7	54	39	36	0
	(2) わたしは図書館の学習、研究、教育活動に対する支援体制に概ね満足している。	6	3	63	34	35	0

- ① そう思わない
 ② あまりそう思わない
 ③ どちらともいえない
 ④ ややそう思う
 ⑤ そう思う
 ⑥ 無回答



一見したところ、ほぼ過半数の学生が設備・サービスともに満足している結果となっていますが、どちらともいえないと答えている学生も多く、「あまり図書館を利用していないから、どちらともいえない…」という回答が本音なのかもしれません。もっと気軽に図書館を利用してもらえるよう、これからも様々な取り組みをしていく予定です。

新 着 図 書 紹 介 目 録

この目録は、平成23年4月から9月にかけて図書館で購入した図書170冊のうち、各学科の先生方がぜひ皆さんに読んでほしいと推薦された図書の一覧です。分類番号の見方は、館内掲示の「本の探し方」を参照してください。

書 名	編著者名	発行所	分類番号	書 名	編著者名	発行所	分類番号
考える力をつくるノート ー強く生きるヒント9	茂木 健一郎他	講談社	141.5	環境社会検定試験 eco検定公式テキスト (改訂版)	東京商工会議所 編著	日本能率協会マネ ジメントセンター	519
日本のもと 憲法	宮崎 哲弥 監修	講談社	302.1	手作り布の絵本と遊具 くだもの	野口 光世	偕成社	594
マッキンゼー流 図解の技術	ジーン・セラズ ニー	東洋経済新報社	336.5	手袋いぬと靴下ざる ー手袋と靴下で作るぬいぐるみ	金森 美也子	文化出版局	594.9
マッキンゼー流 プレゼンテーションの技術	ジーン・セラズ ニー	東洋経済新報社	336.5	テーブルコーディネーターの 仕事	丸山 洋子 千葉 他	共立速記印刷「優 しい食卓」出版部	596.8
介護のための人間関係と コミュニケーション	荒木 重剛 他共編著	ヘルス・システム 研究所	369.26	テーブルコーディネート ーテキストブック	丸山 洋子	やさしい食卓	596.8
高齢者のためのレクリエー ションとゲーム ーすぐに使える	高齢者施設レク リエーション研 究会 編	法研	369.26	増補改定版 ビジュアル園芸・植物用語 事典	土橋 豊	家の光協会	620
赤ちゃんがヒトになるとき ーヒトとチンパンジーの比較発 達心理学	中村 徳子	昭和堂	376.11	くらしの花大図鑑 ー花を楽しむ花と遊ぶ	講談社 編	講談社	627
驚くべき学びの世界 ーレジョ・エミリアの幼児教育ー	佐藤 学 監修	ACCESS	376.11	ガーデン植物大図鑑 ー木を植えよう花で飾ろう	講談社 編	講談社	629.7
4・5歳児にもつくれる 手づくりおもちゃ集	芸術教育研究所 おもちゃ美術館 編	黎明書房	376.157	ヌイグルミ NUIGURUMI nui-gurumi	金森 美也子	フォイル	759
暮らしの折り方、包み方 ー贈る・飾る・楽しむ折り84	山根 一城	主婦と生活社	385.9	フラワーデザイナーのための ハンドブック ーフラワーデザイン用語集(増補改訂版)		六耀社	793
元素検定	桜井 弘 編著	化学同人	431.11	100ページの文章術 ーわかりやすい文章の書き方の すべてがここに	酒井 聡樹	共立出版	816
基礎から学ぶ介護シリーズ 介護に使える ワンポイント 医学知識	白井 幸子	中央法規出版	490	これからレポート・卒論を書 く若者のために	酒井 聡樹	共立出版	816.5
図解 病院のしくみが面白いほどわ かる本	梶 葉子	中経出版	498.16	小指のおかあさん	玉田 さとみ	ポプラ社	916

就職関連・資格取得関連図書より

この目録は、平成23年4月から9月にかけて、就職活動や資格取得活動のために購入した図書の一覧です。分類番号の見方は、館内掲示の「本の探し方」を参照してください。

書 名	編著者名	発行所	分類番号	書 名	編著者名	発行所	分類番号
最新最強の地方公務員問題中 級(12年版)		成美堂出版	317.4	福祉住環境コーディネーター 検定試験2級・3級公式テキ スト(改訂版)	東京商工会議所	東京商工会議所	369
初級地方公務員予想問題 2012年度版	新星出版社編集 部 編	新星出版社	317.4	2012介護福祉士国家試験過 去問解説集 第21回ー第23回全問完全解説	介護福祉士国家 試験受験対策研 究会 編著	中央法規出版	369.17
2012年度版(完全版) 必勝面接力 エントリーシート対応	就活研究所面接 班 編	永岡書店	336.42	教員採用試験シリーズ 幼稚園教員採用試験 (2012年度版)	教員採用試験情 報研究会 編著	一ツ橋書店	376.1
一般常識チェック&マスター ー短大生・専門学校生の就職筆記試験 対策 就活力アップシリーズ(改訂版)	山野 晴雄	実教出版	336.42	教員採用試験シリーズシステムノート 幼稚園ランナー 2012年度版	東京教友会 編 著	一ツ橋書店	376.1
最新最強の適性検査クリア問 題集(13年版)		成美堂出版	336.42	2013年度版 スィスイわかる保育士採用 専門試験・教養試験	保育士採用試験 情報研究会 編 著	一ツ橋書店	376.14
就職試験 これだけ覚える SPI高得点のコツ (13年版)		成美堂出版	336.42	調理師試験問題と解答 (平成23年版)	日本衛生士会 編	第一出版	596.07
短大生の就職15日間スピー ドー一般常識 (2012年度版)	就職試験情報研 究会	一ツ橋書店	336.42	漢検過去2級・準2級・3級問 題集 (平成23年度版)	日本漢字能力検 定協会 編	日本漢字能力検定 協会	811.2
しっかり学ぶ介護福祉士ワ ークブック2012		ミネルヴァ書房	369	(ビデオ) 就職活動のすべて 第5巻 対策!個人面接		日本経済新聞出版 社	336.42

『星の王子さま』 (サン=テグジュペリ 著/岩波書店)

生活環境学科 I 回生1組 吉盛 智子

『星の王子さま』はとても有名な本で、名前を聞いたことのない人の方が少ないかもしれません。しかし、私は実際にこの本を読んだことがありませんでした。そこでこの機会にぜひとも読んでみようと思いました。

冒頭にあるように、この本は「子どもだったころのレオン・ウォルト」にささげられたものです。私はこれを読み、「おとな」と「子ども」の違いを考えました。歳をとることがおとななのか、無邪気なことが子どもなのか？ そもそも、「子ども」から「おとな」になる境界線はどこなのか？ さまざまな疑問が私の頭に浮かびました。そして、この疑問は読みすすめるうちに徐々に解消されていきました。

第1章は、作者の子どもの頃の話です。私はこの本を読んだ時、正直笑ってしまいました。なぜならその場面が簡単に想像できてしまったからです。私の中にはやはり「子どもよりおとなの方が上」「おとなの方が偉い、賢い」というイメージがあります。しかし、子どもの目線・立場から見たおとなはひどく滑稽で手間のかかる存在なのだと思います。この考えの差が面白かったのですが、それと同時に、「ああ、なるほど」と納得している自分もいました。「おとな」と「子ども」では見ている世界も価値観も全然違う。「おとな」は未来を、ひいては役に立つものを見て、「子ども」は現在を、興味のあるものを見ているのだと思いました。おとなが子どもの、子どもがおとなの言っていることが理解できないのは簡単な話、相手の見ているもの・世界に関心がないからなのではないのでしょうか。

第2章から第9章は、王子さまと王子さまの星の話です。ここで最初にでた「羊の絵」の話。作者が箱を書いて渡したエピソードには、感心しました。「おとな」が見ればただの箱ですが、子どもが見れば中に羊が存在するのです。王子さまがどんな羊を欲しがったのかは気になるところです。

次の「B-612番の星」の話は、服装の違いだけで人の態度が全く違ったという内容。つまり「おとな」はその人のことを下に見ていたのだと思います。例えば、子どもが発言したことをおとなが否定すれば、おとなのみんなは否定した「おとな」の発言を信じることでしょう。つまり「おとな」は「子ども」を下に見ているのです。そう思うとやはり良い気分にはなれませんでした。話が少しそれてしまいましたが、その「B-612番の星」というものが王子さまの星ではないかと作者は書いています。小惑星というのがどれほどの大きさなのか私には全く分かりませんが、少し立ち位置を変えるだけで日の入りが43度も見ることができたり、パオパブの木が三つあるだけで星が埋まってしまうほどですから、かなり小さいのでしょう。

次のバラの話では、「好きな花が、たくさんの星の中のどこかにある」と「星を眺めるのが楽しくなる」とありました。確かに目の前に箱が何個かあって、その中の一つにケーキでも入っていれば、初めはただの箱だったものが一瞬で宝箱に変わったような気がします。要は気の持ちようなのでしょうが、自分の関心・興味を引くものがあるか無いかでこんなにも物の見方が変わるの、不思議だと思いました。

第10章から第15章は、地球に来るまでに王子さまが回った星の話でした。どの星の住人にも共通することは「自分のことしか考えていない」ことです。世間体、というものがあるのか分かりませんが、つまり外見ばかりを気にして中身が伴っていない人ばかりでした。これがこの話の中で言う「おとなじみている」ということなのでしょう。

第16章からは地球での話、つまり第9章の続きの話です。ここで目を引いたのは「キツネ」の話です。＜飼ひならす＞ことが＜仲よくなる＞とイコールの関係かどうかは分かりませんが、友だちになることが「かけがえのない存在」になるということは理解しました。このキツネの話もやはり第7章にあった話と同じで、いつとも変わらない風景・音の中に「もしかしたら友だちがいるかも……」というだけで毎日が楽しみになると思います。王子さまはこのキツネと友だちになったからこそ作者と友だちになれたのだと思います。最後に王子さまが星に帰る時に作者と会わないようにした、というところで、思わず私は泣き出しそうになりました。今までの星では別れを惜しむほどの人には出会えず、むしろ「面白くないおとな」にしか出会えなかったのに、地球に来てやっと「かけがえのない存在」というものを見つけることが出来たことに胸が熱くなりました。

この本を読んで「大切なものは目には見えない」という言葉の意味を理解できたように感じます。普段の暮らしの中にも大切なことはたくさんあって、しかし少し角度を変えて見てみればたくさんの大切なことや幸せなことが光り輝いて見える気がします。少しロマンチックすぎるかもしれませんが……。そして最初にも書いたとおり、私の疑問点にも、私なりの答えを出してみました。「おとな」と「子ども」との違い。それは「それぞれの大切だと思うもの」の違い。「おとな」は「社会の中で生きる上で大切なこと」、つまり経済や地理・歴史を見ていて気にするのはやはり世間体です。対して「子ども」は「暮らしの中で大切なこと」を見ている気がします。ふとした時に感じる思いや自分の思いのままに行動する、ということ大切にしているのが「子ども」なのだと思います。しかし、そのように考えると、近代の子ども（私も含めてですが）はどちらかというと「おとな」に近い考えをもっていて「おとな予備軍」の子どもが多く、「子ども」らしい子どもの方が少ないのでは、と考えると少し悲しいものがあります。そのような子どもたちにはぜひこの『星の王子さま』を読んでもらって「大切なもの」について一度、考えてみてほしいと思います。

〔評〕世界中の人から愛読されている名作を、素直な視点で感性豊かに読み込んでいます。本当に大切なものとは何か、作品世界との対話を通して探求を試みた優れた感想文です。



ガイダンス報告

平成23年度は、図書館ガイダンスを2回実施しました。

☆「図書館ガイダンスⅠ」

- ・開催期間：5月9日（月）～5月20日（金）
- ・参加人数：Ⅰ・Ⅱ回生、7名（希望者制）

☆「図書館ガイダンスⅡ」

- ・開催期間：10月11日（火）～10月24日（月）
- ・参加人数：Ⅰ回生、4名（希望者制）

詳しい内容は以下の通りです。

- ①図書館の本を探そう
 - ・日本十進分類法って何？
 - ・書名目録カードを上手に活用しよう！
- ②インターネットを使って情報収集してみよう
 - ・効果的な検索キーワードを見つけよう！
 - ・他図書館の蔵書も検索してみよう！
 - ・実習先や就職先の情報、どうやって調べるの？
- ③相互貸借・文献複写について
 - ・雑誌論文を探してみよう！
 - ・図書館に文献がなかったらどうするの？
- ④著作権について知っておこう！
 - ・引用文献と参考文献、どこが違うの？

結果的には、少ない参加人数になってしまいました。ガイダンスの時間帯と授業の空き時間が上手く重なっていませんでした。次回からは時間帯を延ばすことも検討しています。

ガイダンスでも注意を呼びかけましたが、インターネットから安易に情報をコピーし、ペーストしてレポートや論文を仕上げる人が増えています。ネット上に掲載されている文章や写真にも「著作権」は存在しており、「著作権の侵害」は犯罪行為です。インターネットを利用する場合は、ルールを守りましょう。

館内新設コーナーについて

図書館入口にある掲示版に新しいコーナーが設置されました。『今週の気になる記事!!』として、就職活動などでも役立つよう、時事問題の新聞記事を日替わり・週替わりで貼り出していきます。来館して気軽に立ち読みしてくださいね。

読書感想文 佳作入選者と書名

生活環境学科 2組 30番 吉田 知代 「博士の愛した数式」

読書感想文・課題図書より

この目録は、Ⅰ回生対象の平成23年度読書感想文・課題図書・推薦図書の一部です。Ⅱ回生にもぜひ、読んでもらいたい本がたくさん推薦されていますので紹介します。

書名	編著者名	発行所	分類番号	書名	編著者名	発行所	分類番号
話を聞かない男、地図が読めない女 ー男脳・女脳が「謎」を解く	アラン・ピーズ バーバラ・ピーズ	主婦の友社	143.1	心を整える。 ー勝利をたぐり寄せるための56の習慣	長谷部 誠	幻冬舎	783.47
PHP文庫 素直な心になるために	松下 幸之助	PHP研究所	159	ハッピーバースデー 命かがやく瞬間	青木 和雄	金の星社	913.6
女性の品格	坂東 眞理子	PHP研究所	159.6	阪急電車	有川 浩	幻冬舎	913.6
美しい人に	渡辺 和子	PHP文庫	159.6	恍惚の人	有吉 佐和子	新潮社	913.6
新潮新書 日本辺境論	内田 樹	新潮社	361.42	もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの「マネジメント」を読んだら	岩崎 夏海	ダイヤモンド社	913.6
あなたの夢はなんですか？ 私の夢は大人になるまで生きることです。	池間 哲郎	致知出版社	368.2	新潮文庫 博士の愛した数式	小川 洋子	新潮社	913.6
力愛不二 ー介護に必要なもの、それは愛と力	青山 幸広	雲母書房	369.26	とべないホテル	小沢 昭巳	ハート出版	914
新潮新書 母の介護 百二歳で看取るまで	坪内 ミキ子	新潮社	369.26	岩波文庫 滝口入道	高山 樗牛	岩波書店	913.6
文春文庫plus 盲導犬クイールの一生	石黒 謙吾	文藝春秋	369.27	二十四の瞳	壺井 栄	角川文庫	913.6
岩波新書 社会力を育てる ー新しい「学び」の構想	門脇 厚司	岩波書店	370.4	こころ	夏目 漱石	岩波書店他	913.6
岩波新書 子どもの宇宙	河合 隼雄	岩波書店	371.45	五体不満足	乙武 洋匡	講談社	914.6
センス・オブ・ワンダー	レイチェル・カーソン	新潮社	402.9	だから、あなたも生きぬいて	大平 光代	講談社	916
野の花ホスピスだより	徳永 進	新潮社	490.15	いのちのハードル 「1リットルの涙」母の手記	木藤 潮香	幻冬舎	916
むすびと こころの仕事	一条 真也	三五館	673.93	アレルギー・マーチと向き合って	関根 友美	朝日新聞出版	916
新潮文庫 ボクの音楽武者修行	小沢 征爾	新潮社	760.49	新潮文庫 老人と海（改版）	ヘミングウェイ 福田恒存（訳）	新潮社	933
左手のコンチェルト ー新たな音楽のはじまり	館野 泉	佼成出版社	762.1	“It”（それ）と呼ばれた子	デイヴ・ベル ザー	ソニー・マガジズ	936

◆ ■ ◆ あ・と・が・き ◆ ■ ◆

4回目の「あとがき」、今回は気楽に図書館の思い出を書いてみます。学部を過ごした大学図書館の閲覧室は地下にあった。冷房のない夏に汗を拭きながら卒論を書いた。院生時代の大学図書館の院生閲覧室は2階にあった。院生だけで千人弱在籍していたから、座席確保には苦労した。出納カウンターとコピー室と閲覧室を行き来する毎日だった。その時のことが今の私の学問を支えている。でも、時々2～4階の閲覧室を素通りして5階閲覧室に行くこともあった。5階の閲覧室は学生も疎ら。窓からは眼下に広大なオリンピック記念公園が眺められる。その景色が好きだった。もう40年近く前のことです。（木本）



編集発行

甲子園短期大学図書館

〒663-8107 西宮市瓦林町4-25
TEL.0798 (65) 3300/FAX.0798 (67) 9101